



日本共産党文京区議会議員  
**まんだち幹夫** 通信 週刊  
 2011年12月2日号 No.220

# 'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

長～い列となった  
パレード



を被災地に  
残したまま  
東京での避  
難生活をし  
ていると告  
発。佐藤栄  
佐久元福島  
県知事は知  
事時代に経  
産省が安全

「さよなら原発」市民が礪川公園につどいました  
**「ほかの人たちに私たちのような思いをさせたくない。」**  
**再稼働は絶対に阻止したい** — 東京で避難生活をする  
 福島的女性

礪川公園で27日、「放射能NO！ さよなら原発 東京北部フリー&パレード・イン 後楽園」が行われました。

6万人が参加した9月19日の「さよなら原発」集会での「一千万人アクション」に呼応し、エッセイストの海老名香葉子さん、元プロボクサーの小林秀一さんや弁護士などが呼びかけ人となり、「原発の新規計画中止と既存原発の計画的廃炉、高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉、自然エネルギー政策への転換」を一致点に企画され、約500人が参加しました。

リレートークでは、福島からの被災者が放射能汚染のために家族が引き裂かれ、夫

神話を振りまいて原発を推進したことを紹介しながら「危険な原発から撤退を」と発言しました。

集会後、参加者は「原発いらない」「放射能から子どもを守ろう」など自らの思いを書いたプラカードやうちわを持って上野の不忍池までパレードを行い、注目を集めました。「げ、げ、げ、げ、原発NO」「ほ、ほ、ほ、ほ、放射能いらない」のパレードコールがこだまし春日町交差点では通りかかった人たちから「すごい列だね」と注目を集めていました。



## 「手数料・使用料」の「見直し」 来年度からの行財政改革計画

28日の「自治制度・行財政システム調査特別委員会」が開かれました。区の報告は「新たな行財政改革推進計画について」。向こう5年間で新しくつくる育成室、戸籍住民課証明業務の民間委託が提案されています（詳細は今後に書きます）。

もうひとつは、保育料負担金、施設の使用料、手数料や講座、行事の参加料などを「見直し」というもの。そのコスト計算に、直接人件費と光熱水費、維持管理費を含め、事業の性質により利用者の負担の割合を決めるといいます。何がどのように値上がるのか詳しくわかりませんが、ますます税金の使い方が問われてきます。区民説明会が今月ひらかれます。ぜひご参加を。

## まんだち日誌

23日 午前、生活相談 午後、かつて関わったPTA卓球大会の応援に。礪川小がブロック優勝！残念ながら区長杯までは難しかったものの、健闘でした。お疲れ様です。

24・25日 本会議 3日間で10人が質問に立ちました。放射能対策で区として測定器を購入する答弁は、一歩前進でした。行革計画見直し、住宅対策や絶対高さ問題などはひきつづく委員会でも追及します。

26日 湯島小学校の140周年記念式典。午後、えんじゅの会総会へ。

27日 礪川マラソン。今年も駐輪場のスタッフとして参加。ガンバレ！

